

特集

自由が丘の明日のまちづくりを考える

第3回◆都市再生推進法人となったジェイ・スピリットによるこれからのまちづくり(その3)

今回は、(株)ジェイ・スピリットが都市再生推進法人の指定を受けるために、目黒区に提出した事業計画案をご紹介します。今後、こうした方向性に基づいて事業に取り組んでいく予定としていきます。

(株)ジェイ・スピリットが検討するまちづくり事業計画(案)

前回までに、都市再生推進法人となった(株)ジェイ・スピリットとおける、取り組み目標やプログラム案をご紹介します。最終回になる今回は、目黒区に申請した事業計画の(案)をご紹介します。頂へことごとしました。

現在の事業を、大きく5つの事業分野を再編・再構築しながら、短期的に取り組むもの、中長期的な視点で検討していくものについて、検討することとしています。都市再生法人の指定以前から取り組んでいる事業については継続・発展を図るとともに、あらためて取り



組んでいくべき事業については、現在も協議・検討しているところであり、徐々に実行につなげていければと考えています。今後とも、自由が丘の街づくりに関する、皆様のご理解とご協力を賜れば幸いです。

自由が丘を支える都市基盤や物流対策等について調査・研究していく

- ①グランドデザイン(=マスタープラン)の策定
 - ・街づくりの単位(ゾーン)を意識した、短~長期を見据えた総合的な街づくりビジョンを作成する。
- ②道路整備に関する調査研究
 - ・都市計画道路の整備のあり方について、街としての考え方を多角的に検討する。
- ③鉄道の連続立体化に関する調査研究
 - ・自由が丘を東西南北に通過する鉄道の連続立体化について、経済面や環境面等から検討する。
- ④商業地内での物流処理に関する調査研究
 - ・安全な歩行環境確保の観点から、街の中での物流のあり方について、調査・研究を行う。

道路占用許可の特例等を活用した豊かな都市活動の場を創出していく

- ①広告ボードの設置・運営
 - ト展開、オープンカフェの設置・運営等の展開を考えていく。
- ②イベント展開、オープンカフェの設置・運営
 - ・既に東京圏国家戦略特別区域区域計画によって道路占用許可の特例を受けられる自由が丘商店街振興組合と協力・連携しながら、自由が丘の風景に馴染むデザインによる広告ボードの設置・運営や、イベント展開、オープンカフェの設置・運営等の展開を考えていく。
 - ・これらの実現にあたっては、自由が丘における回遊性の向上に寄与するものとしつつ、同時に自由が丘ならではの景観を損なわないよう配慮していく。

自由が丘ならではの素敵な街並みの形成に継続発展的に取り組んでいく

- ①「自由が丘街並み形成指針」の発展的運用
 - ・今後想定される駅周辺における共同化によるまちづくりなどを背景に、「自由が丘街並み形成指針」を発展的な形で運用していく。
- ②細街路の魅力化に向けた啓発
 - ・南口地区やサンセットエリアを好例としながら、自由が丘の特徴の1つである細街路の魅力が街全体として高まるよう促進していく。
- ③ファンド系物件に関する街並み形成上の対策検討
 - ・まちづくりに係る地元とファンド等との意識の調整策を検討していく。



住む人・訪れる人・働く人が感じる安全や安心の増進を促進していく

- ①災害対応マニュアルの作成の促進
 - ・今後実現に向けて計画される規模のまとまった共同化によるまちづくり等に対して、目黒区とともに防災機能の導入に関する調整役を担っていく。
- ②再開発等への防災機能確保の誘導
 - ・犯罪の発生を抑制する防犯カメラ設置を拡充し、街の安全・安心の強化を図る。
- ③防犯カメラの設置拡充等による街の防犯性の強化

まちづくりの情報発信とコミュニケーションを発展的に継続していく

- ①若い世代の居住促進
 - ・子育て支援セミナー等を発展的に継続させつつ、若い世代向け賃貸住宅等の立地を促進していく。
- ②新たな産業(就業)の立地促進
 - ・自由が丘の街のサイズに合った業務系の立地を、駅周辺で計画される開発等に対して働きかけていく。
- ③「まち運営会議」の発展的な運営
 - ・住民と事業者がまちづくり情報を共有・検討する「まち運営会議」を発展的に継続していく。
- ④まちの広報・PRの発展的な展開
 - ・新たなまちづくりの取組みについて、HPやFacebook等を有効に活用して情報発信していく。